

生徒指導分科会

飯島幸久 石樽悦子 酒井為久 鈴木克彦
田内公望 高須 明 高比良幸治 米田 閏一

諸外国と日本の生徒指導との違い

—— 国際理解の一助として ——

鈴木克彦

【抄録】 世界27ヵ国の91人へのアンケート調査をもとに日本の学校教育における生徒指導との違いを比較研究した。その結果、西洋個人主義にもとづく生徒指導との大きな相違点やアジア各国の生徒指導とのいくつかの共通点を見いだした。また、日本の生徒指導を見る各国人の「目」には興味深い意見を得ることができた。今後、国際化をめざした学校教育を行なう場合、参考となることが多々あると思われる。

【キーワード】 国際理解、平和教育、生徒指導の国際比較、世界から見た日本の生徒指導

I はじめに

1 本研究の動機

「生徒にとって魅力のある学校作り」のテーマのもとに、本校では5年前から学校改革に取り組んできた生徒指導においてその新しい在り方を現在模索している。

本年度の中等教育研究協議会の全体テーマ「国際理解と平和教育」から、生徒指導における「国際理解と平和教育」を求め、その第1歩として生徒指導研究グループは諸外国の生徒指導の実態をアンケート調査、事例研究的にまとめてみることで、本校の生徒指導との違いを探ってみた。

2 研究の方法

約30項目に渡る質問に回答するアンケート調査を行い27ヵ国、91人からご返事を得た。回答者は生徒指導分科会のメンバーの知り合いや名古屋大学への留学生である。日本語以外に、英語、中国語のアンケート調査用紙を準備した。およそ、600通配り、91通の回答を得た。

調査項目は生徒指導分科会のメンバーで話し合い、我々の素朴な疑問を素直にぶつけてみた。

回収されたアンケート用紙は、メンバーで分担し統計的に処理しようとしたが、1ヵ国につき一人の回答が多く、数的に処理するよりも、アンケートから読み取れる各国の生徒指導を我々の生徒指導と比較するという形で文章表現した。

3 本校の生徒指導

(1) 制帽・制服

中学校では2年前に男子の制帽が着帽の義務がなくなった。本校では高校については15年ほど前に「制帽自由化運動」として生徒会が取り組み着帽の義務が免除されている。中学ではそれ以降度々生徒会が取り組んできたが、無帽では中学生らしさが失われるという理由から果たされなかった。しかし、中学生からの要求の高まりや時代の趨勢から2年前についに実現することになった。

今は、中・高ともに「女子の夏服改正運動」にそれぞれの生徒会が取り組んでいる。女子の夏服はデザイン、服地の厚み、機能性等で女子からの不満の声が以前からくすぶっていた。しかし、男子の無関心やきちんとした要求として出てこない等から、生徒会が本格的に取り組みにくいものとなっていたが、女子からの強い要望として生徒会が積極的にこの運動を推進する

ようになり、教官会議の議題としても度々取り上げられ、「改正」の方向に向かいつつある。

(2) 飴、ガム、ジュース等の飲食

いずれも中高ともに禁止されているが、実態としては教室、廊下、トイレなどで飴やガムの包み紙、ジュースの空缶などが落ちている。高学年になるほどその状態はひどくなる。さすがに授業中堂々と飲食する者はいないが、時折ガムなどは噛んでいて、教官から注意される者もいる。

本校では牛乳およびコーヒー牛乳の自販機が設置されている。ジュース等をその中に入れるかということは教官会議で、過去何度も話題になったが、生徒の健康面や授業等への悪影響を理由に導入が否決されてきた。

(3) 喫煙、飲酒

年に1～2件特別指導の対象となる生徒がいる。中学は校長訓戒、反省ノート。高校は校長訓戒、(家庭または学校) 謹慎等の措置がなされる。

(4) 停学・退学・留年

ここ数年、退学者は学校生活不適應による場合と進路変更の場合がほとんどである。留年に関しては、成績不振および長期欠席による者が数名でている。

(5) バイク

在学中のバイクの免許取得に関しては、四ない運動を実施しており、禁止である。違反した場合は特別指導の対象となる。

II 諸外国の生徒指導

1 アジア

(1) 中国

名大の留学生のうちでも最も多い隣国、中国からは29通の回答が得られた。我々の予想では日本の教育より厳しい「きまり」が数多くあるであろうと思っていた。そういった傾向が見られたものに「遅刻、早退、欠席は家庭に連絡する」という点と「欠席20回で退学」という答えぐらいで、残りの回答については大体日本と同じ結果であった。

意外だった点は昼食の弁当を食べるのに食堂があることと、自宅へ帰って食べることが許されている点である。また、賞罰について「賞はたくさんあるが罰についてはあまりなく、体罰は絶対ない」という答が特徴的なものであるように思う。

【日本の教育について】

29通の回答中、21人の意見が書かれていた。そのうち、12名が日本の教育に賛成的意見で残り、9名が何らかの批判的意見が書かれていた。

・団体主義や規律を守る意識を涵養するには良い教育だと思うが、やや厳し過ぎるかもしれない。

・青少年の成長時期にあたるから、学校だというよりむしろ社会全体で躰をきちんとするべきである。

・管理教育である。また皇民教育の歴史先例がある
・制服があるのは良いが着るのは学生の自由です。学校は学生の学校で先生だけのものではない。日本の学校では教員と学生は互いに協力し合う関係ではなくて対立し、対決するかたちをとっている
・学生という意識がつよく、勉学に専念できるという点で評価できるが、もっと個性のある多様性が欲しい。

・日本人は制服を着ていないときは幼稚園に入るまでの間と、大学生の間と定年後だと思う。日本人にはよく似合うと思うが、ただし学生達の個性を豊かに発展させるために、なくしたほうが良いかもしれない。

(2) 大韓民国

20代から30代の男性ばかり6人の回答ですのでややかたよりが有るかもしれませんが、日本と比較してとても顕著なことは国旗と国歌のことで、これには全員が掲揚し、唱和すると答えています。それともう1件、全員が一学級50人以上と返答しています。次に大きく違うところは、学年の始まりがこちらより1ヵ月早く、3月に始まって、2月に終わるというサイクルです。休みも冬休みが最も長くて40日、夏休みが30日、春休みが一番短くて7日間になっています。制服について取り入れているのが、3分の1の二人だけ、あとは自由のようです。

【日本の教育について】

考え方としては学生の意見を尊重したいし、型にはめるのは軍国主義でよくないといった傾向にある様です。

・韓国でも7年前は制服がありましたが、私はあまり好きではありませんでした。なぜなら、人間をつくられた箱のなかに入れて特徴がない人間、社会の一つの部品をつくる教育は良くないと思います。

・良くない、まるでむかしの戦争をやっている時の感じがする。

・まず校則について生徒達と先生達との自由な意見交換が欲しいと思う。校則も時代に応じて変える必要がある。できるだけ生徒の意見を聞いてあげたほうが望ましいであろう。

(3) 台湾

ほとんど日本と同じである。特徴的な回答としては「5分以上の遅刻は欠席である」と「自動車・バイクの免許は認めている」が2枚あった程度である。

この国の実情を知るには日本の教育への意見をその

諸外国と日本の生徒指導との違い

まま載せることで、理解できそうである。現在の日本人の意見と共通することが多く興味深い。

【日本の教育について】

- ・教育はかなり日本に近く「生活のきまり」などもある。大多数の生徒は気にしていないが、少数の生徒は困っている。「個性尊重」を求める現代では、教育方針とか手段とか当然時代の流れに従って変わらなければならないと考えられる。
- ・社会性を営むにあたって一定の rule を守ることは必要不可欠だと思うが制服やシャツの色まで決めた「生活のきまり」というようなものは封建制度の名残であり生徒に独自の個性があることを深めないものだと思うので望ましくない。要は守るべき rule は守らなければならないことを生徒に教えなければならない。形式主義で生徒を縛る必要はない。
- ・勉強に専念すべきあり、形式的な制度を無視しても学校教育の運営に影響を与えないだろう。

(4) ミヤンマー

制服はなく、5日制である。1クラス40~50人学級で始業時間、1日の授業数は日本と変わらない始業時期は5月で2期制である。

校内の清掃についてはも教師と生徒で行い、日本によく似ている。生活指導面に関しては、飲酒喫煙等認められていないが、2回以上発覚の場合退学処分になることを考えると、若干厳しいと思われる。

【日本の教育について】

- ・私個人の意見ですが、このことには賛成です。学生はその国の指導者となるべく教育されなければならないので、この考えを指示します。

(5) フィリピン

始業時期は6月で、学期に分かれておらず、1ヶ月を1つの単位とする。週5日制で、始業時間は若干早く、7:30~8:00である。授業中の飲食はガム程度なら許されている。停・退学の処分もある。校歌国歌は唄われており、校歌については毎朝唄われている。欠席・遅刻・早退については届け出制になっており、罰としては清掃等が課せられている。

【日本の教育について】

- ・日本には日本なりの生徒指導の基準があるだろうから、部外者がとやかく言うことではないとおもう。
- ・制服は良いと思うが、他の点については細かすぎる。

(6) マレーシア

スクールバスを使う学校もあり、週5日制である。朝のSTはない。欠席等について土曜日の呼び出しが

ある。

昼食は家へ帰って食べてくる。ホームルームはない部活動のない学校もある。スポーツ、ゲームなどの教科外授業がある。

自動車、バイクの免許を認めている。校歌は毎日歌っている。国歌は式典のとき歌う。

生徒手帳はない。12月に学期が始まる。生徒指導の感じは日本に似ている。掃除は生徒だけです。制服がある。

(7) インド

始業時間が9時以降で朝のSTがない。1クラス50人以上である。欠席はほとんどない。昼食は特別教室で食べ掃除は公衆衛生の仕事の人がやる。部活動は先生と生徒が責任をもって行なう。教科外授業や生徒会がある。自動車やバイクの免許を認めない。喫煙や飲酒認めない。

国歌は毎朝歌っている。国旗は独立記念日に掲げる学則を中心とした生徒手帳がある。制服・制帽がある

【日本の教育について】

- ・校則の中には、ばかげたものや残酷なものや非人間的なものがある。個性を認めても良い時期ではないだろうか。

(8) バングラディッシュ

始業時期は2月で2期制である。長期休暇については、冬休みが少し長いぐらいである。1クラスの人気は日本並みであるが、始業時間は若干遅く、1日の授業数は6~7時間で、週6日制である。制服のある学校もある。

清掃は清掃員が行なうという回答が多かった。自動車・バイクの免許を認めることが多い。退学処分はある。国歌については式典時に唄われ、中には毎日クラスで唄うところもあるらしい。国旗については、常時掲げられているという回答が半数であった。

【日本の教育について】

- ・平等と社会主義について学ばなければならないと思う
- ・充分すぎる
- ・良いと思う、生徒達は型にはまってなければならない。
- ・日本の校則は賞賛に値すると思う。

(9) インドネシア

始業時期は7月で2期制である。長期休暇は年40日(時期については不明)。制服があり、1クラス30~40人編成で、始業時間は多少早く、7:30~8:00である。週6日制だが、1日4時間のため、下校時刻も早く、2:00頃となっている。停・退学処分もあり、国歌も唄い、国旗も掲げられている。

【日本の教育について】

- ・基本的には、制服を着させること、髪の毛の長さを決めるというような日本の校則には賛成である。というのは、お互いに個人の服装が華美になることを抑制することになり、やはり教育や躰というものは、大人になる前段階の、10代の時期になされてあたりまえだと思うからである。

(10) タイ

回答者が一人だけで、あまり参考にはならないかもしれないが、日本との相違点は国旗は常時掲揚され、国歌は毎朝歌っているというところである。それからこれも一人の回答でなのでどうかと思うが、特筆すべきことはバイクの免許取得を認めているということである。その他変わったところは学年の始まりが6月で2学期制、夏休みが非常に長くて60日間もある。あとの休みは中間に30日ある。遠足や修学旅行のたぐいは全然ない。学校での躰は概して上品に行なわれていて、校則もあるにはあるが、日本ほど厳しくはなく教師は注意はできるが、怒鳴ることは許されていないということである。

【日本の教育について】

最後に回答者は、日本の教育は軍国主義の教育であると結んでいます。

(11) アフガニスタン

始業時期は2月で2期制である。長期休暇に関しては夏休みが短く、冬休みが長い。(砂漠地帯のため、気温の差が激しく、そのためだろうか!?) 1クラス30~40人編成で、週5日制。下校時間は若干早く2:00頃である。清掃に関しては清掃員が行なう。生活指導に関しては、停・退学の処分がある。

【日本の教育について】

- ・日本の校則を支持します。学校は、ファッションショーのステージではない。学校は勉強や道徳を学ぶ場所です。日本にはときどきひどい格好の生徒がいる。

2 北アメリカ

(1) アメリカ合衆国

週5日制で、9月始まりの2期制。夏休みは60日以上、また感謝祭の2週間の休みもある。

制服はなく、1クラス30人以下が多い。昼食は食堂で食べている。校内清掃は外部に依頼。喫煙、飲酒は認められず、法律に触れるようなことには厳しい措置がある。

校歌がある学校もあり、式典で歌われている。国旗については常時掲げている学校もある。

【日本の教育について】

- ・これは日本の社会ではうまくいくかもしれないがアメリカでは好きな服を着るとい個人主義は非

常に大切であり、アメリカの歴史や憲法の精神に基づいている。

- ・生徒は自主的に考えることを学ぶ自由が必要である。
- ・学校ではその場に合ったそれ相応の身なりのきまりがあったほうが良いと思うが、ある程度の個人差はあってもかまわない。学校外では、学校側が関知するところではない。(在米20年の日本人)
- ・アメリカの法律下においては、これは論議を巻きおこすことになるだろう。アメリカならば教師が生徒から市民としての権利をとりあげれば、法的な罰則をうけることになるだろう。私立校ならば生徒の賛同のもとに可能なことであろう。
- ・非常に厳しいと思う。アメリカでは教会の学校のみが制服や似たような厳しい規則をもっている。日本では集団の一員であるということを生徒に教えるのには大変重要である。校則はこれを生徒に教えている、しかし、パーマやアクセサリーや化粧に規制を設けることには反対である。

(2) カナダ

1クラス人数20~30人。校内清掃は清掃人。ガム、菓子を食べてもよい。ある学校では決められた場所または校外なら喫煙よし。自動車、バイクの免許取得を認めるところも認めないところもあり。学年は9月始め。留年はないが、科目を2度繰り返すことはする。最後の2年間は週3時間の自由時間があつた。遅刻をすると、翌日8:30~8:50までdetentionがある。麻薬関係は退学。飲酒は謹慎。

【日本の教育について】

- ・生徒は学ぶために、先生は教えるために学校にいる。厳しく細かく、また無意味な規則で、そういう信頼関係を失うべきでない。
- ・個人の自由の規制は制限があるべきだ。こどもからおとなへの順調な発達を阻害するものだ。
- ・日本の社会の画一性を強要するにはよいが、自由を認めるべきだ。一番よくないのは、休みの日でも制服を着ることを強要することだ。

(3) マーシャル諸島

始業時期は9月で、2期制である。長期休暇は夏休み30日だけである。始業時間は7:30~8:00で多少早めである。1クラス10~20人と少なく、週5日制。1日に授業は6時間である。欠席すると、罰として仕事をさせられるという回答は興味深い。飲酒・喫煙は認められておらず、即退学処分となる。国旗は常時掲げられている。

【日本の教育について】

- ・私達の学校でも同様である。

3 中、南アメリカ

(1) ブラジル

1 クラス30~40人。清掃人を雇っている。午前中掃除。ガム、菓子は食べてよい。自動車、バイクの免許取得はよい。夏休みは60日、冬休みは30日。学年始め2月。

【日本の教育について】

- ・制服は良いと思う、ただシャツのいろまで決められていたら、個人の好みがかたづけられないので好きではありません。制服は学校へ通う時便利であるからいいと思います。だけどそれ以上の制服はやりすぎです。
- ・みんな一致することによって、自己主張ということがうすくなり、意見や考えがはっきりしない大人になる可能性が多いのではないだろうか。

これはお互いのちがいを認めない日本的な考えを反映している。互いを尊重し合えば、どんな髪型や服装でも、問題はない。

(2) パラグアイ

1 クラス人数30~40人。3部制になっているため12時、18時、23時の種の下校時刻がある。

アルコール類以外はすべて飲食可。免許取得も許可喫煙は授業以外は認めている。飲酒は校外はよし。生徒手帳なし。国歌は毎日歌う。

2月が学期始め。休暇は夏休み74日、冬休み44日。

(3) メキシコ

始業時期は9月で2期制、長期休暇については日本並みである。制服があり、1クラス40~50人編成で、日本との共通点も多くみられるが、週5日制である。

生活指導面においては、自動車・バイクの免許を認め、かつ喫煙も認めるところがあるなど、日本とはかけ離れてい。ただし飲酒・喫煙に関してはそれが原因で停・退学の処分をとる学校もある。国歌、国旗に関しては、式典時には必ず行なっている。

【日本の教育について】

- ・厳しすぎる、もっと自由にすべきだ
- ・嫉をすることは大切だが、日本のような規則は時として厳し過ぎると思う（休日の日にさえ制服を着る事があるように）

(4) 南米（国名は不明）

始業時期は9月で2期制、長期休暇は日本並みである。始業時間が7:00~7:30と早く、週5日制が基本であるが、時として6日になることもある。制服があり1クラス30~40人編成である。1日の授業数が7時間で下校時刻が3:00~4:00であるのにもかかわらず、昼食はなしという回答であった。（1日2食の国なのか？）自動車・バイクの免許取得は認められているが、飲酒・喫煙は認められておらず停・退学処分

もある。（校則を破ると退学になる）式典時には国歌も唄われ、国旗も掲げられる。

【日本の教育について】

- ・私は大切なことだと思います。私達が若い時には集団および社会のルールを尊重するように習ったものだ。社会のルールを学ぶことは一番重要であり、大人の社会を学ぶのに役立つと思います。

(5) ホンジュラス

回答者が一人だけなので、あまり参考にならないかもしれないが、日本との相違点は校内に食堂が併設されているということ、国旗を掲揚し、国歌を歌うこと、学年の始まりが2月2学期制をとっているといったところであろうか。休暇も冬休みの方が長くて60日で、夏休みが15日しかない。教科外の授業はというところ、宗教の授業が有ると答えている。

【日本の教育について】

- ・最後に制服については大体日本と同じ考えのよう、で秩序を保つためには必要であると答えています。校歌もだいたい同じ様で、始業式、終業式の折に歌っているとのこと。

4 ヨーロッパ

(1) フランス

始業時期は3月で3期制である。長期休暇については夏休みが長く、他にに関しては日本と同様である。制服があり、1クラス30名前後で、週6日制授業数は4~5時間である。

清掃に関しては清掃員が行い、生徒は一切行なわない。昼食はほとんどが食堂や自宅等でとられている。自動車、バイク免許はほとんど認められており、とくに飲酒に関してビール、ワインのみ認められている学校があるのはおもしろい。

愛国心が強い国だとよく耳にするが、国歌が歌われ国旗が揚げられるという回答が少ないのは意外である

【日本の教育について】

- ・校則はまったくなく、服装についても自由である（自主規制されている）
- ・日本ではよいと思うが、他の国に当てはめることは不可能である。
- ・自由主義の国なのに考え方が反対である。
- ・教育上よくないと思う。

(2) イギリス

週5日制で、制服がある。9時以降に始まり、3時までには終わる。9月始まりで、2期制。夏休みは60日ある。

1クラス20~30人で、授業中はガム程度は食べてもよい。昼食は食堂で食べている。

校内清掃は清掃員が行なう。自動車・バイクの免許

は認めていない。飲酒・喫煙も認めていない。校歌、国歌は歌わないようで、国旗も揚げないようである。

【日本の教育について】

・制服はよいが、無意味と考えている。

(3) ドイツ

週5日制。1日5時間だが、始まりは8:00~8:30で下校時刻は夜7時過ぎである。9月始まりの2学期制。

1クラス10~20人と少人数。昼食は家へ帰って食べている。自動車・バイクの免許を認めている。飲酒・喫煙も認めている。清掃は他に頼んでいる。

停学はないが、試験に落ちたときのみ、退学・留年がある。

校歌はなく、国歌は歌わない。国旗は揚げないようである。

【日本の教育について】

・日本のような細かい規則は19世紀の遺物で、このような教育体制では創造性や個性を伸ばすことはできないと思う。

(4) ソ連

研究協議会の後数か月後、ソ連からサーシャ君(12才)が中学校に school stay を始めた。そこで、同じアンケートに答えてもらった。

ソ連には制服がある。清掃は生徒だけで行なう。欧米の中では異色の存在である。道徳教育はしっかりあるようだ。校歌らしきものもない。国歌も特に学校で歌ってはいない。夏休みが92日もあり、秋休みも14日ある。寒いところだから冬休みが多いかと思ったら、12日と少ない。寒さとの付き合いがうまいせいだろうか。

【日本の教育について】

制服はあるが、みな自由なものを着たがっている。制服はあまり快適ではない。冬の寒い日には重ね着をしたいが制服のためできない。暑い時は暑い時で薄着をしたいがそれもできない。ただ、大勢生徒が居ても連帯感を生む効果はある。

5 アフリカ

(1) ガーナ

始業時期は9月であり、2学期制である。長期休暇は夏休み(30日)だけである。始業時間は7:00~8:00で、多少早めである。1クラス10~20人と少なく、週5日制。1日の授業は6時間である。欠席すると罰として仕事をさせられる。

飲酒・喫煙は認められておらず、即退学処分となる国旗は常時揚げられている。

【日本の教育について】

・わが校も同様である。

(2) スーダン

週5日制で、イスラム教の国のため金曜日休み。制服はある。1日7時間以上、7時半に始まり、3時までには終わる。

1クラス40~50人でやや多い。昼食は特別な部屋で食べる。食堂ではない。校内清掃は他に頼む。自動車・バイクの免許は認めている。喫煙も認めているが、飲酒は認めていない。飲酒で退学になる。これもイスラム教の影響か。処罰としての退学、停学がある。試験に落ちると留年である。毎朝、校歌、国歌を歌う。国旗も常時揚げている。9月始まりの2学期制である。夏休みのみで90日。

【日本の教育について】

制服や校則はたいへん良い。思春期の年ごろに平等な感覚を身につけることである。

(3) エジプト

1クラス人数30~40人。校内清掃は清掃人。下校時刻は午後2時~3時。夏休みは90日。学年始めは9月、2学期制。国歌は毎朝歌う。

【日本の教育について】

・生徒の行動を制限する規則をもつことは重要であり、学校はしっかりとした躰や満足のいく教育制度を確立すべきだ。

6 オセアニア

(1) オーストラリア

2月から4学期制で、秋休みが10日ある。週5日制で、1日3時間。1日の始まりが8:30~9:00で下校時間は5時。

1クラス10~20人と少人数。昼食はどこでとってもよい。清掃は清掃人を頼む。自動車、バイクの免許、飲酒を認めている。

処罰としての退学、停学はない。試験に落ちたとき留年がある。

常時国旗を揚げている。

【日本の教育について】

☞資料参照(本校生徒留学生の意見)

(2) ニューゼーランド

1日に7時間以上の授業があり、週5日制。ベルは鳴るが、朝のSTはない。1クラス20~30名である。

昼食はクラスが校庭で食べる。掃除は生徒だけで行なう。部活動の責任者は先生、コーチ、生徒である。

宗教の時間がある。生徒会では集会も行なっている。喫煙・飲酒などの罰は夜遅くまでの拘留である。違反で退学、停学あり、成績不良の留年がある。

国歌は歌わず、国旗を揚げない。生徒手帳はなく、2月始まりの3学期制 制服・制帽がある。

【日本の教育について】

- ・私の学校では女子が髪を長くする場合、リボンをしなくてはなりません。化粧やアクセサリは許されていません。パーマは許されています。皆制服を着ています。スカートの長さはまちまちです。私は愛校心を養うためのものならば、日本の校則に賛成です。

Ⅲ まとめと今後の課題

1 生徒指導分科会の経緯

生徒指導分科会では研究協議会の共通テーマである国際理解、平和教育と生徒指導をどう結びつけ、研究を行なっていくかという基本的問題で、はやつまずきがあった。生徒指導は学校の中の独自の問題であるという意識が拭いきれず、国際化、国際理解、平和教育等の大きな問題とは直接の関係は薄いと考えていたからである。

だが、本校にも高校ではアメリカ、オーストラリア等へ留学する生徒が増え、帰国後うまく学級になじめないなどの悩みをもつ生徒もいる。また、一時的に数か月の単位で school stay として中学校に通うアメリカ人やロシア人のこども（名古屋大学の客員教授の子息）たちがいる。さらに英語科ではアメリカ人、カナダ人の英語補助教員が非常勤講師として授業を受け持っている。中国、インドネシア、ドイツからの帰国子女らも在学している。直接または間接的にも日々の学校生活が外国あるいは世界と向かいあっていると見える。

そこで、はじめ彼ら（とくに帰国子女の学校生活への不適應）を事例研究的に扱ってはどうかという案があった。だが、個人を扱うだけにさまざまな問題も多いと思われた。例えば、一人の人物を見て、全体の概念を作り上げてしまう誤りを犯さないか。発表の際、プライバシーの保護が守れるか等の問題である。

そのような議論の中に、他国では校則はどうなっているかという素朴な疑問を投げかけた教師がいた。私たちは他国の理解が著しく乏しいことが、議論を進める中で明らかになっていた。一部の教師はアメリカへ語学研修中、現地の中・高校等への参観見学などを通じて若干の知識があったものの、特に隣国である韓国、中国などアジア諸国の学校のようなすなど皆無に近い知識しかなかった。まずはこれらの海外諸国の学校における生徒指導のようすを知り、私たち教師自身の国際理解の感覚を磨く必要があると考えた。

そこで他国では校則はどうなっているかという素朴な疑問からの出発点を重視した調査研究を行なうこととし、教師だけでなく調査結果を生徒らに還元する手立てとして、委員会またクラブ等の指導にこれを生か

そうという結論に到った。研究協議会では国際クラブが、この調査結果を集計し、生徒指導の国際比較を通じて討論を行なった。

2 調査研究の経過

1-2「研究の方法」で述べたように、校則に関する質問を中心としたアンケート調査の形で、世界各国から回答を得、これをまとめることにした。そのため英語科の教官が分科会の部員全員で作成した日本語による質問事項をもとに英語の調査用紙を作成した。また、中国語のアンケート用紙も学校外の協力者を得て完成した。

日本語、英語、中国語のアンケート用紙を分科会部員の各教師がなんらかの伝手を頼りに世界各国へ郵送したり、在日中の外国人に直接面談したりして、回答を待った。

音楽科の米田先生から、本校の卒業生であるフランス在住のピアニスト中沖怜子さんに、何枚かを。ブラジルなど南米に知己の多い美術科の田内先生。アジア地域からの工業、農業等の研修者が集まる研修センターの交流会の常連の家庭科の長岡先生。元海外青年協力隊員で中・南米に派遣されていた体育科の中村先生。専門学校等で国際理解について講義をされており、国際交流等でボランティア活動をされている英語科講師の近藤先生。アジア軟式庭球大会の役員活動を通じて中国、韓国に知人の多い体育科の飯島先生。本校英語科の英語補助員であるアメリカ人マイケル先生、エリザベス先生、カナダ人ブレント先生などまだ書ききれない数人の方々の協力を得ることができた。

さらに、名古屋大学の留学生担当部門にもお願いして、各学部はこのアンケート用紙を送付していただき留学生に配布、回答を得るなど名古屋大学に全学的に協力していただいた。

アンケート調査の質問項目はきわめて素朴な疑問をぶつけたものになった。現在本校では制服問題がもちあがっており、女子夏服改正への気運が生徒の中にある。制服は他の国では着るのがふつうなのだろうか。入学式、卒業式等での日の丸掲揚、君が代斉唱の論議が教官間で盛んに行なわれているが、他国では国旗、国歌の扱いはどうなっているのだろうか。一週間の授業数は？バイクの免許取得は？生徒手帳はあるのだろうか？長期休暇はどれくらい？最後にこれも日本人の特性なのか、どうしても他の国の人の「目」が気になり、日本の生徒指導についての意見を求めた。

3 調査結果の概観と考察

当初、統計的に処理するつもりでいたが、統計をとるうえでのアンケート方法に初歩的なミスがあったの

と統計をとるには絶対数が足りないこともあり、また日本の生徒指導に対する意見は数字では表わしきれないものが多く含まれるため文章表現とした。彼らの気持ちの方がダイレクトに現われ、また私たちの彼らを見る「目」も表わせると思った。

アジア各国の意見を見て、単に学校の問題としてだけではなく、過去の日本の政治や歴史を抜きには語れないものがある。黒い学生服は日本の軍隊を思い出させるものと受けとめられている。私たちの普段の制服指導の中で、そのようなことは考えてもみななかったことだ。また、発展途上国の中には全面的に日本の学校教育の厳しい面をも絶賛するものもある。第二次世界大戦後の日本の急速な経済的発展に好感をもってやって来た留学生かもしれない。いずれの意見も私たちはやや複雑な気持ちで読んだ。

欧米の意見では、制服については賛否両論だった。制服賛成派は経済性の点で称賛している。毎日服を変えるのはお金がかかってしょうがないという理由だ。制服反対派は個性を失わせるものだとしている。さて私たちは制服指導にあたって「個性」をどのようにしているのだろうか。日本の中においては目立たないことが美德という社会通念を無意識のうちに強要するものだと感想を言う教師もいれば、制服に身を包まれていても十分「個性」を尊重した教育をしていると言う教師もいる。

髪型については反対派ばかりだった。髪型は完全に個人の問題であるのに、なぜ学校が指図するのかわからないということだ。理屈では私たちも理解できるがパーマや染色した髪の生徒を個性のある人間としては受け入れがたい。

アメリカ、カナダ、オーストラリアは高校から留学する生徒がもっとも行きたがるところだが、帰国してから日本の学校に馴染めない者が続出する。向こうでは誰でも認められていた(?)ピアス、マニキュアが日本では叱られる。自信をもっていた英語が授業やテストでは役に立たないなどの理由である。しかし、もう一昔前の留学生たちは帰国後ピアスもマニキュアもしてこなかった。英語もさすがと思わせるほどできた。今の現象はどう判断すべきだろう。

アジアと欧米とで明確に違うことは「清掃」の有無である。アジアの多くの国は生徒が清掃をするが、欧米、中南米、アフリカのほとんどは清掃員がする。一昨年 school stay をしたアメリカ人の中学生は、トイレ掃除当番だけはどんなことがあってもできないと逃げようとして帰ったと担任になった先生が言っていたのを思い出す。日本人の掃除好きは宗教的影響が大であるものの本で読んだことがあるが、教育的意義も大きいと思うのだが……。これはアジア人特有の考

えだろうか。ところが、現在モスクワから来ている中学生はあちらでも掃除は生徒がしたと言って、トイレ掃除もまったく嫌がらずにやっている。

名大の留学生のものを除きほとんどの「日本の教育について」の部分は英語を訳したものだが、パラグアイの「日本の教育について」は日本語で書かれていたものをそのまま掲載した。これは日本語教師をめざすパラグアイ人が書いたもので、彼は日本の教育に関心をもち、わたしたちのことばで意見を寄せてくれた。この文章に日本の学校が国際化に向けて変わるべき方向性が見いだされるのではないかというのが、生徒指導分科会のメンバーの一致した見解である。

4 研究協議会での議論のまとめから

(1) 発表をめぐる質疑の主な点

- ・海外帰国子女の問題行動(万引き、喫煙等)について
- ・本校の発表に対しては、アンケートの集計方法等についてのみの質問で、テーマそのものに関わるものはなかった。

(2) 助言者が提示した問題点・今後の方向など

- ・本校の AET が、かつて授業中にガムを食べていた→国際理解を異文化理解としてとらえ、それ生徒に考えさせてみる。理解に決め付けはよくなく、まずお互いに意見交換をする必要があり、一つの事実をお互いにどう考えるかが大切である。
- ・アンケート結果を生徒の中にどう生かして行くのが今後の課題であろう。

(3) 分科会を終えての反省

- ・南山高校の先生の発表時間が不足していた。
- ・アンケート集計時に世界の生徒指導に共通点を感じた。
- ・アジア諸国に日本の及ぼす影響がたくさんあり、それが理解できよかった。
- ・国際クラブで時間不足、なおかつ担当教官がその生徒を教えていない。また女子ばかりだったので、意見の偏りがあった。公開授業に無理があった。

(4) 学校改革の中心テーマの今後の進め方について

- ・国際理解は発展性があると思うが、平和教育は何を平和と考えるかという点発展性がないと思われる。

(5) 分科会の存続の是非について

- ・外部の人は喜んでくれた。資料を増やしていけばすばらしい研究になるとの評価あり。
- ・焦点がぼやけてしまう→現実的な校内の問題に取り組む(ジュース、ガム等がよい)。
- ・海外の人が見る日本の校則がおもしろく、ためになった。世界に理解される日本の教育をめざして努力していく必要がある。

・分科会は休会との意見もあり。

5 おわりに

日本の教育を見る世界の目には 予想に反して賛同の声が多かった。例ば制服では

a 集団への帰属意識、愛校心

b 経済性

c 平等性

d 学生の本文に専念できる。

等の利点ある。もちろん反対もある。

a 個性を奪う

b 制服は個人の自由、とくに頭髪（欧米）

c 校外、休みになぜ強制するのか

d 戦争、軍国主義（韓国、中国）

等である。私たちはこの両面を意識に昇らせたうえで制服指導にあたることは、国際化に向けた教育をめざすうえで積極的な意味をもつだろう。

文化、歴史、宗教的背景や社会体制の違いは教育の価値評価に大きく反映している。これは予想はしていた。国際理解の立場から生徒指導を考えると、そういったものをさらに深く研究するよい機会になった。また

生徒たちにもそうしたことを考えさせることもしてある程度の成果は得られた。

ところで意見のなかで日本の教育の一面だけを見てそれをすべてとしているのではと思われるものもあった。私たちは本当の姿、地味ではあるが「心」の部分を理解してもらえるよう努めが必要があると思った。

しかし、批判的意見には私たちの「学校改革の指針」におおいに参考となるものであることは確かだ。

制服を着なさいという指導をしていても、個性、創造性をのばすということは私たちの教育の目標のひとつでもある。ただ、確かに細かいことにこだわりすぎる生活指導は批判的意見にあるように、それらの芽を摘んでしまうかもしれない。私たちが見失ってはならない基本的価値は何かをしっかりと見定めて指導を行なう必要を感じた。

将来の世代がどう育つかは、今の学校で何が起きているかに大きく左右されてくる。私たちはこの「世界」という社会の一員として、私たちのこどもの教育にどのような態度をとっているか、またどのような役割を演じているかを見直してみる必要があると思われた。

アンケート集計結果 NO.1

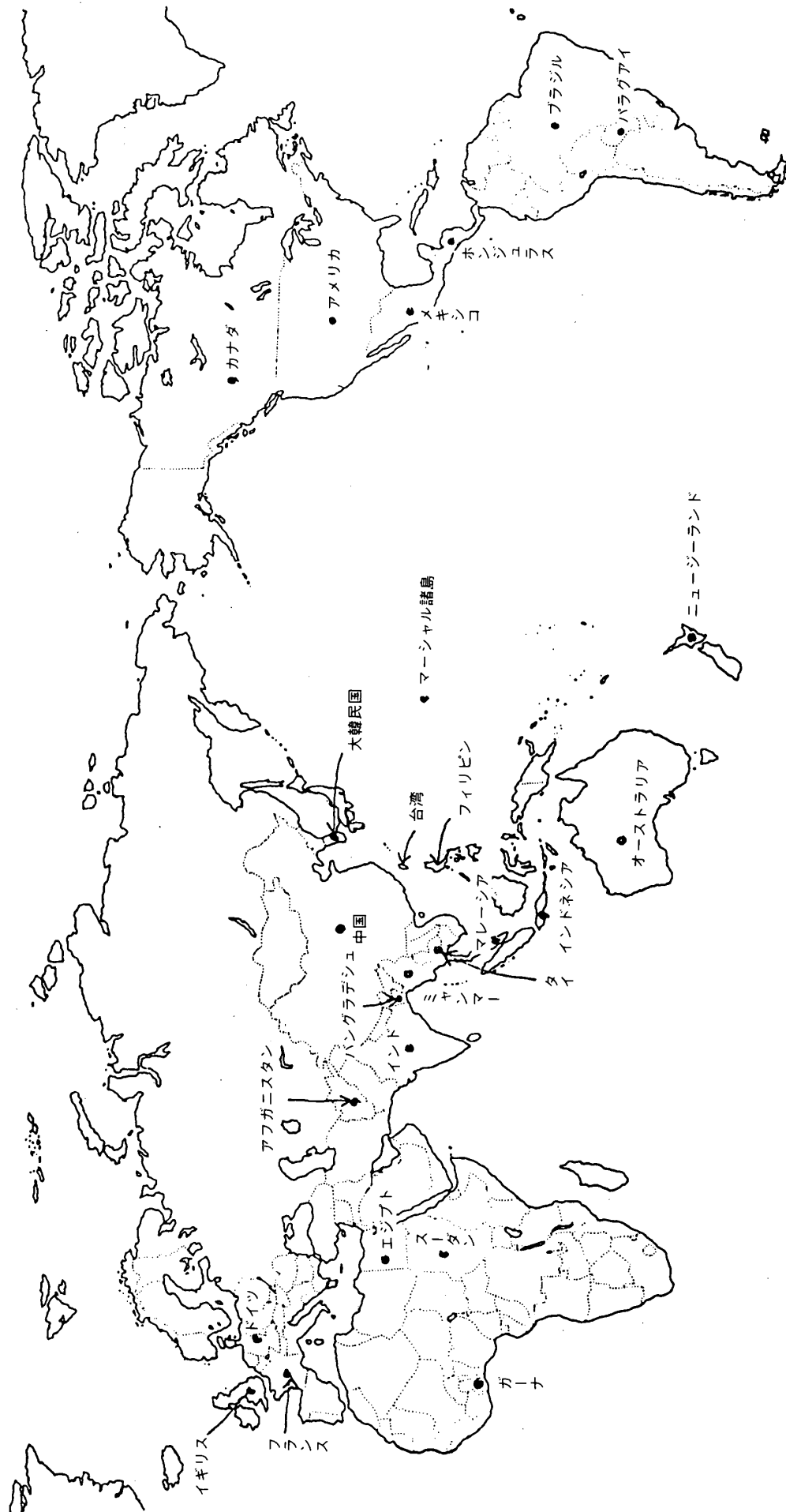
問題番号	質問内容	国名	件数																												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
1	中国	件数	29	6	7	1	2	2	1	4	1	1	1	11	3	1	3	1	3	1	1	1	4	1	1	1	2	1	1	91	
		制服、制帽、校章	6	2	6	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1			2	1	2	1	1	4	1	1	1	1	1	1	40	
		通学手段	21		4	1	2	1		3	1	1	1	6	2	1	3	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	58
2	自転車	件数	19		4	1	2	2			1	1	1	7	2	2	2	1	1	1	2	2			1	1	1	1	1	51	
		交通手段	11	6	7	1	2		3	1	1	8	3	3	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	2	1	1	59	
		その他			3			1			1	4		4			3	1	1	1					1					15	
3	授業時間	1-3										1																		1	
		4	1						1				1									2								5	
		5										4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	1	2			13	
4	7時間以上	6	23	2	2	1	1	1	1	2	1	7			2	1	2	1	2					1	1	1	2			49	
		7	4	4	3		1	1	1	2											1							1		17	
		8	3	1	1	2	1	2	1							1	1	1	1	1					1	1	1	1			12
5	朝のST有り	9:00	1							1	1											1								33	
		8:30	18			1			2			1	2										1					1			25
		8:00	6		3	1			1			2											2								21
6	学数人数	10以上																												8	
		20				1	1				2																				18
		30	4					1			1	1																2			18
7	遅刻届	40	24		6	1	1			1																				37	
		50	1	6	1					1	1																				10
		早退届	18		6	1	1					1	1	5	1														1		40
8	欠席届	12				2							7	1	1	2														29	
		19					2							8	1		2	1	1	1	1							1	1		
		2																													

諸外国と日本の生徒指導との違い

アンケート集計結果 NO.2

	中国	大韓 民国	台湾	ミヤ ンマ	フィ リピン	マレ ーシア	インド	バン グラ	イン ドネ	タイ	アフ ガニ	アフ リカ	カナ ダ	メ キシ	ブラ ジル	マ ンダ	ブラ ジル	パ ラグ	メ キシ	ホン ジュ	南米 不明	フラ ンス	イ ギリス	ドイ ツ	ガー ナ	ス タン	エ ジ プト	オ ース	ニュ ージー	計
8					1	1							1	1	1		1	1					1						7	
9	12	6				1	4						1															1	26	
10	25	5	6	1	1	1	1	1	1							1				1				1			1	1	45	
	4	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	3	3	3	1	3						1	1	1	1	1	1		38	
11	16	6	5	1	1	1	4	4	1	1	1	8	2	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	1	2	1	1	66	
12				1	1	1	1	1	1	1	1			1	午前				1	1			1	1	1	2			12	
	2	1	1									2		1					1		1								9	
	21	2	4									3	1									1						1	33	
	5		1									2										2							12	
		3	1				1	1				2	1						1									1	9	
	1									1	1	1	1											1					9	
13	18	3	5	1	1	2	1	3	1	1		9	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	61	
14	12	6	5	1	2	1	1	3	1	1	1	9	3	1	1					1	1	4	1	1	1	2	1	1	61	
15	5		2	1	2	2	3	3	1	1		10	3	1	3	1	3	1	3			4		1	1	1	1		37	
16				1																		1						1	3	
				1	1							3	3	1	1				1			3		1		1			15	
17	26	6	7	1	2	1	1	3	1	1	1	11	3	1	3	1	3	1	2	1	1	3	1	1	1	2	1	1	84	
	25	6	6	1	2	1	1	1	1	1	1	10	3	1	3	1	3	3	3	1	1	4	1		1	1	1	1	76	
18	26	2	6	1	2		1	2	1	1	1	9	2	1	3	1	3	1	2	1	1	4	1	1	1	2	1	1	76	
19	9	6	6	1	2	2	1	1	1	1		7		1					1	1	1	1			1	2		1	47	
	15	6	6	1	2	2	1	4	1	1		5	2	1	2	1	2	1	2	1	1			1	1	2			59	
20	16	6	6	1	2	2	1	4	1	1		8	1	1	3	1	3	1	3	1	1			1	1	2	1	1	57	
21	15	2	4	1	1			3	1	1	1	8	1	1	3	1	3	1		1	1	2		1	1	1	1	1	51	
22	24	5	5	1	1	1	1	4	1	1	1	10	3	1		3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	72	
23	25		7									11	3	1	3	3	3	3	3	1	1	3	1	1	1	2			60	
							2								3					1								1	9	
							1				1																		2	
		6		1	2	2	2	2	1	1												1							16	

アンケート回収国



Mrs. Iwashiro: Grade. 0118 June 1990

My idea of Japanese education
 I saw Japan from outside. I have found many things Japanese which I cannot see inside. I would like to write about my idea of education in Japan, compared with that in Australia.

I think that Japanese school has had a big role for the progress in Japan, particularly in industry since Meiji era. Many children who graduated from their school became cheap and useful work forces especially when Japan opened her door to foreign countries for the first time. I think that Japanese work force has been closely concerned with her education.

In Japanese society, Japanese workers are expected to do what their bosses order, surely and completely. The Japanese employer wants his employees not to insist their own character but to act in a group with strict rules. We Japanese feel belonging to our organizations, schools or companies, more strongly than Australian people. We tend to work for the benefit of our organizations rather than that of ourselves. For example, the workers in Japanese car factory always have to make exactly the same parts of a car with equal quality without any mistake. We have been so good at it for years. I think that these elements are reasons why we can export an extremely great deal of manufactured goods which have the best quality in the world.

Japan has needed places to nurture those who are fit to that factory. Japanese schools, therefore, must produce not those with special characters but those who, with equal quality and same character, readily obey their boss. I think Japanese schools have tried to break or reduce the characters of students for this purpose.

As a result, Japanese schools have many rules around a student so as not to make any difference among them. I think the Japanese school is the organization to force the students to be involved in

Japanese society. We can see these characteristics not only in Japan but also in Australia, perhaps all over the world.

I stayed in a rural area in Australia for a long time. The Government of Australia does not care very much of the people in the country towns, but not many people live there. It is too expensive for her government to provide the public welfare in the country as well as in the big city.

Therefore, the people in the country must positively take part in their local community to organize sport associations, dance parties, other entertainments, and even the management of their local hospital. They have to work for nothing and attend many meetings, to live a better life. They should be able to make a speech and claim their opinion in public. I think that Australian schools make it important for the students to say their opinion at class under such circumstances.

The situation has been changing. Today is the turning point of history, say many people in the world. I also think so. The time when we must compete with the world, catch up with it, and get over it, is coming to an end. We should start cooperating with other people in the world. I think that we must lead the world with the idea of making the people all over the world happy, as an economic super-power. There are a lot of different situations with difficulties, and different ways of thinking in the world. The world require us various idea and various abilities to understand the difference among countries and resolve many international problems. That means Japanese education should face a big change in the new era toward 21st century. I would like to offer Japanese schools to educate new generation not only for Japan but also for the world.

生徒指導に関する国際理解のためのアンケート

名古屋大学教育学部附属中・高等学校、生徒指導研究グループ

運動的な季節を迎え、皆様には充実した毎日をお過ごしのことと存じます。

本校では、今年11月2日に、「中等教育研究協議会」をおこないます。その研究発表に向けて、私たち生徒指導の研究分科会(グループ)では、「国際理解と生徒指導」をメインテーマに取り組んでいます。

つきましては、世界各地の学校教育の中での生徒指導に関する実態を、事例研究的に調べてみようということになりました。突然で申し訳ありませんが、以下の質問にありのままをお答え下されば幸いです。

アンケートの回答内容は研究協議会当日の、協議材料としてのみ使用させていただきます。

私たち学校教育にかかわっているもの前進のために、貴重な時間をおささるって恐縮ですがご回答にご協力下さい。

.....回答をいただいた方の氏名等.....

お名前 藤 貴子 女、年齢 37 才、国(地方) 韓国

※以下お答えいただく学校は、中学校・高等学校どちらかにしぼってください。
どちらが対象か○をつけてからお答え下さい。(中、高)

<問い1> あなたの国(地方)の学校には、「制服・制帽・校章」はありますか
 ない あり

<問い2> あなたの国(地方)の学校は、通学手段はどんな方法がありますか
 バス, subway,

<問い10> あなたの国(地方)の学校では、校内の清掃は生徒がやっていますか
 はい

<問い11> あなたの国(地方)の学校では、部活動はどういう形態でやっていますか(指導者、時間、指導手当て、活動場所など)
 先生、週2時間、学校

<問い12> あなたの国(地方)の学校は、下校時間は何時ですか
 17:00

<問い13> あなたの国(地方)の学校では、一週間の中で教科以外の授業はありますか
 あり

<問い14> あなたの国(地方)の学校では、生徒会(自治会)活動はおこなわれていますか
 あり、指導先生がいて、

<問い15> あなたの国(地方)の学校では、生徒の自転車やバイクの運転を認めていますか
 認めない。

<問い3> あなたの国(地方)の学校は、一日何時間授業で何時間通学ですか、一週間何日授業がありますか
 一日6時間, 08:30まで, 36時間

<問い4> あなたの国(地方)の学校は、始業時間は何時ですか、朝のSTはありますか
 09:00 あり

<問い5> あなたの国(地方)の学校は、始業・終業の合図のためのチャイムは鳴りますか
 はい

<問い6> あなたの国(地方)の学校は、1クラス何人ぐらいで編成されていますか
 20人

<問い7> あなたの国(地方)の学校は、欠席・遅刻・早退の取り扱いはどうなっていますか
 清掃とかおこなわせる。

<問い8> あなたの国(地方)の学校では、授業中の飲食は禁止になっていますか
 はい

<問い9> あなたの国(地方)の学校では、昼食は弁当ですか、主にどこで食べますか
 はい, 校舎

<問い16> あなたの国(地方)の学校では、生徒の喫煙や飲酒を認めていますか
 認めない

<問い17> あなたの国(地方)の学校では、通学・帰宅などの区分はありますか
 あり。

<問い18> あなたの国(地方)の学校では、成績不振などでの留年はありますか
 ない

<問い19> あなたの国(地方)の学校には、校歌がありますか、学校では国歌と校歌どちらが多く歌われますか
 あり。ほぼ同じくらい

<問い20> あなたの国(地方)の学校では、国旗をあげますか
 はい

<問い21> あなたの国(地方)の学校には、生徒手帳はありますか、どんな事項が書かれていますか
 あり, 学校規則 授業時間表 など

諸外国と日本の生徒指導との違い

<問い22>

あなたの国(地方)の学校には、賞罰はありますか、具体的に何で罰せられたかを
ご存じでしたらお書き下さい

あり、stickでなぐるとか 変な などが あり

<問い23>

あなたの国(地方)の学校は、一年は何月から始まって何月に終わりますか
何期制ですか

2学期制、3月9月に始まって8月2月に終わる

<問い24>

あなたの国(地方)の学校には、休暇はどんなものがどれだけありますか

春の休み 30日、冬休み 40日、春休み 7日

<問い25>

あなたの国(地方)の学校には、学校・学年でまとまって旅行(遠足や修学旅行)
に行くことがありますか

あり (2人1組 年2回、修学旅行 3年1回)

<問い26>

日本の学校には、制服やシャツの色などで決めた「生活のきまり」があり、違反
することのないよう指導がおこなわれています。あなたは、このような日本の学校教
育についてどう思いますか、ご意見をお聞かせ下さい

韓国では7年前は制服が ありましたが
私は 気に入らなかつたので
なぜならば、人間を作った箱の中に入れて
特権がない人間、社会の一つの部品の
を 作る 教育はよくないんだと 思います。

QUESTIONNAIRE

We are the members of the study group of Junior and Senior High School attached to the School of Education, Nagoya University in Japan. We will have a conference on secondary education on November 2nd this year. The subject of our study is International Understanding as to Student Guidance. So we are trying to get enough information as to student guidance in many parts of the world. Comparing with that of Japan, we would like to think over an education for international understanding. We would like to request your cooperation and appreciate your frank opinions. Your answers will be treated most carefully as confidential.

June 4, 1990

Yukihisa Iijima
(chief director)

Please answer each of the following questions by checking an appropriate item or items. As to the items marked *, please check as many items as you like. If you graduated from senior high, please check as a high school student.

1. Your nationality:

- (1) the U.S.
- (2) Great Britain
- (3) Canada
- (4) Australia
- (5) India
- (6) China
- (7) Others _____

2. Your sex:

- (1) male
- (2) female

3. Your age:

- (1) 10~15
- (2) 16~20
- (3) 21~30
- (4) _____

4. Your school is: (Check two items)

- (1) public (a) junior high
- (2) private (b) senior high

5. Your school has:

- (1) school uniforms
- (2) no school uniforms

*6. Students go to school:

- (1) on foot
- (2) by bicycle
- (3) by means of transportation
- (4) _____

7. How many classes do you have in a day?

- (1) 1~3 classes
- (2) 4 classes
- (3) 5 classes
- (4) 6 classes
- (5) _____ classes

8. You go to school from Monday to _____

- (1) Thursday
- (2) Friday
- (3) Saturday → sports only
- (4) _____

9. Your school starts at:

- (1) 6:00~7:00 a.m.
- (2) 7:00~7:30 a.m.
- (3) 7:30~8:00 a.m.
- (4) 8:00~8:30 a.m.
- (5) 8:30~9:00 a.m.
- (6) 9:00~ a.m.

10. Do you have a homeroom meeting every morning?

- (1) Yes
- (2) No

11. Does the bell ring in your school?

- (1) Yes
- (2) No

12. The number of students in your class?

- (1) 10~20 students 15
- (2) 20~30 students
- (3) 30~40 students
- (4) 40~50 students
- (5) _____ students

*13. Your school has:

- (1) a late note
- (2) a note to excuse a student school
- (3) an absence note

What is your punishment if you are late?

hard punishment depending on behavior

*14. During a class you can eat:

- (1) nothing
- (2) chewing gum
- (3) candy
- (4) _____

*15. You eat lunch at:

- (1) homeroom class
- (2) special rooms at school
- (3) cafeteria at school
- (4) _____

16. Your homeroom is cleaned by:

- (1) students only
- (2) teachers and students
- (3) cleaning people

17. Does your school have ~~gms~~ sports activities? *team sports*

- (1) Yes
- * Who is in charge of each club?
 - (a) teachers
 - (b) instructors or coaches *whosometimes are teachers*
 - (c) _____
- (2) No

18. Students must leave school by:

- (1) 2:00~3:00 p.m.
- (2) 3:00~4:00 p.m. *if no team sports*
- (3) 4:00~5:00 p.m.
- (4) 5:00~5:30 p.m.
- (5) 5:30~6:00 p.m. *r from a team*
- (6) 6:00~6:30 p.m.
- (7) 6:30~7:00 p.m.
- (8) 7:00~ p.m.

19. Do you have any extra curricula?

- (1) Yes
 - * What are they?
 - (a) moral education
 - (b) self study session
 - (c) homeroom meeting
 - (d) *chess, music, acting*
- (2) No *Singing, ping pong, etc*

20. Does your school have students council?
 (1) Yes
 *Students council hold:
 (a) cultural festival
 (b) athletic meet
 (c) money for student work.
 (2) No
21. Does your school prohibit the students from getting a licence of motorcycles and cars?
 (1) Yes
 (2) No *Chronic law under U.S. law*
22. At school can students smoke?
 (1) Yes *Yes once a year*
 (2) No *senior students only*
 What is your punishment if you smoke?
eventually expulsion
23. At school can students drink?
 (1) Yes (alcohol)
 (2) No *illegal unless smoke*
 What is your punishment if you drink?
usually an probation
any violation a 60 day probation immediate expulsion
24. Are there any students who are subject to the dismissal from school?
 (1) Yes
 *What is the reason for it?
 (a) long absence
 (b) failure in the examination
 (c) *insubordination*
 (2) No
25. Are there any students who are subject to the punishment of suspension from school?
 (1) Yes
 *What is the reason for it?
 (a) violence
 (b) drinking or smoking
 (c) shoplifting → *no*
 (d) *no concern of the teachers but the police.*
26. Are there any students who repeat a grade?
 (1) Yes
 *What is the reason for it?
 (a) long absence
 (b) failure in the examination
 (c) _____
 (2) No
27. Does your school have a school song?
 (1) Yes
 *When do you sing the song?
 (a) opening and closing ceremony
 (b) graduation ceremony
 (c) _____
 (2) No
28. Do you sing the national anthem in your school?
 (1) Yes
 *When do you sing the song?
 (a) opening and closing ceremony
 (b) graduation ceremony
 (c) _____
 (2) No

29. Is there a custom of hoisting flag in your school?
 (1) Yes
 When is flag hoisted?
 (a) always
 (b) only at ceremony
 (c) _____
 (2) No
30. Do you have a student handbook in your school?(It contains an ID card.)
 (1) Yes
 *What does it say?
 (a) identification only
 (b) daily program
 (c) diary and school program
 (d) school regulations
 (e) _____
 (2) No
31. Are there any awards ceremonies in your school?
 (1) Yes
 (2) No
32. In a year your school starts in:
 (1) September
 (2) February
 (3) April
 (4) _____
33. In a year how many semesters do you have?
 (1) 2 semesters
 (2) 3 terms
 (3) 4 quarters
 (4) _____
- *34. What vacations do you have and how long is each of them?
 (1) spring vacation 14 days
 (2) summer vacation 66 days
 (3) winter vacation 14 days
 (4) _____ days
35. What trip do you have in your school?
 (1) field trip, outing or picnic
 (2) outdoor activity guidance
 (3) school excursion
 (4) _____
36. In Japan almost all the schools have school regulations, which tell the students to wear uniforms, not to perm the hair and which regulate even the color of their shirts and even the length of their hair or their skirts.
 What do you think about this?
Under U.S. law, this would only be challenged and pleaked. The teachers could even face civil penalties for depriving students of their civil rights as citizens of their states and their country. In a private school, such regulations could be enacted b/c the students agree to the school regulation. My school, private, had uniforms but in no way would prescribe hairstyle or the like (my nephew 19 of 16 boys had short hair).

P.1

本校の奉節裡、想各社当然是每天都生活得充实吧!
 本校訂定於今年11月2日召開中學教育研究協議會
 在我們學生教學研究會社會之部門擬訂以
 瞭解國際情形和學生教學'為主題,於本協議會報
 導。因此,有關學生教學上,世界各國之學校教育的實
 際情形作一調查。基於調查之結果,加以整理檢
 討之後,於定期召開之協議會上報告。懇請各位老師
 能抽出貴寶貴的時間,來為我們回答各項問題為幸。

貴姓名 性別 男 女 年齡 33 歲
 國籍 中國 省籍 江蘇省

請問您所教學的學生是 中學生 或者是 高中生。
 (中學生 高中生)

問1. 貴校是否有制服 制帽, 校章, 是否禁止學生面
 帶耳環等之裝飾品或化妝?
無制服 制帽 有校章
不准學生帶耳環 概不提倡化妝。

問2. 貴校學生是採取什麼方法上學?
徒步, 或自行車。

P.2

問3. 貴校一天上課多少鐘點, 幾點下課?
6 節課左右 (一節課四十五分鐘)
上午 7:45-11:30 下午, 季節不同而異 冬天 1:30-3:30
夏天 2:30-4:30

問4. 貴校從幾點鐘開始上課: 早晨有沒有 ST
 (Share time)?
早上 有十五分鐘的晨自修時間

問5. 貴校上下課的鈴聲, 是否有因時鈴作表示?
呼鈴

問6. 貴校一班有多少學生?
45人左右

問7. 貴校若有缺課, 遲到, 早退之際, 是如如何辦理?
任課老師記點名簿
班主任老師在達到一定記名後, 通
知留下差錯, 一般是星期六下午, 由家長來解決。

問9. 貴校, 在上課之中, 是否禁止學生吃零食?
絕對禁止

P.3

問9. 貴校午餐 是否攜帶便當? 在那裡用餐?
 学校有食堂
 中国一般没有带便当的习惯

問10. 貴校校內之清掃工作 是否由学生担任?
 是, 分組輪流.

問11. 貴校之业余活動 是以什麼方式举行?
 (譬如: 指導者, 其活動時間, 指導方法, 活動場所等)
 下午放学之后, 有一、二个小时的业余活動. 可以让學生做很多種活動, 棋類, 一般由体育老师和學生班表來組織.

問12. 貴校之放学時間 是幾點鐘?
 比美与 第3课重复了!

問13. 貴校在 星期日中, 除了正式課程上課之外, 是否有補課?
 一般放在星期日与下午, 所以, 凡是星期日与下午 校班主任老师留下, 不是纪律問題, 就是成績不佳 很不好看 (校生不留下).

P.4

問14. 貴校是否有举行学生会(自治会)活動?
 若有此項活動的話, 其舉辦方法 及內容, 能請詳述之.
 有学生会, 在平時課余活動中或班級与到級的課外, 体育比赛中, 学生会發掘了人材, 組成校代表隊, 然後定期訓練, 排練, 迎檢隊

問15. 貴校是否許可學生開車, 或騎摩托車(馬車)?
 这在中国还没有出現此類問題

問16. 貴校是否許可學生吸烟或飲酒?
 不許.

問17. 貴校是否有 退学或停学等 処分制度?
 有.

問18. 貴校是否有由於成績不佳等 原因而留級?
 有.

P.5

問19. 貴校有没有校歌, 在學校裡, 国歌和校歌之中, 那首歌較多唱?
 在我国, 主要是少先队和共青团青年国歌, 国歌一般被青年国歌所取代

問20. 貴校是否有异国族?
 有.

問21. 貴校是否有学生手册, 手册裡, 写上什麼事項?
 有, 主要是校規.

問22. 貴校是否有賞罰制度, 如罰時, 採取什麼方式如罰學生? 或請其課外記上.
 賞罰制度分几級: 班級三學生, 年級三學生, 全校三學生.
 (注: 思想好, 學習好, 身体好).
 懲罰別致: 級級一警告处分 → 严重警告 → 開除(停学)

問23. 貴校於一年之中, 是從幾月開始, 直到幾月結束一年之中又分做幾個學期?
 两个學期: 上學期: 9月 → 今年三月 (暑假)
 下學期: 2月 → 7月 (秋季)

P.6

問24. 貴校的休假日幾天, 休假日是怎麼過的東西?
 暑假二个月, 休假日中有宿題和暑假作业, 暑假十天, 老师来督促, 及督促, 学校组织一些假期活動

問25. 貴校 整個學校 或整個學年次, 是否 都去遊覽?
 经常有, 主要是春游, 扫墓等, 記得, 玩的時候很高興, 然後写作文, 考, 以此为休題裁, 不保留, 男不坐.

問26. 在日本的學校裡, 於校內生活之中, 均有生活規則(生活規範). 其生活規範之中, 譬如學生制服 或制服之顏色等之類, 是否均有規定?
 參加節日活動時, 不許穿奇裝異服, 進行研
 主體生教學上, 也以此「生活規範」, 要求學生不要違反生活規範之規距. 這在日本學校之教育方式, 有何高見或想法, 能請詳述之.
 中国強調思想素養, 日本是文明社會, 我想學校里一定安排倫理教育. 我一直在大學裡學習, 對中學生高, 中學生了解不深刻, 从平時電中觀察, 發現日本的中學生服裝整潔, 整齊, 一致. (校服). 有礼貌, 但也经常發現, 中學生有談話, 女生, 這是現在各國所面臨的問題. 但日本比較公开些, 所以建議多培養學生的正確的戀愛觀, 和人生觀. 請給予協助.